



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 25 2009. 1. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

新年明けまして、おめでとうございます。
皆様、佳いお年を迎えられたことと存じます。今年も、皆様のお役に立てるよう
努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

===== も く じ =====

1. 新年のご挨拶 『理事長 須藤 千春』
2. 災害時の疑問 Q & A
3. 最新！アレルギー関連情報『食物アレルギーの栄養指導の手引き 2008』
4. 歯科材料アレルギー治療の健康保険講座(その 8)
5. 歯科治療材料アレルギーについてのアンケートご協力をお願い
6. 賛助会員からのメッセージ 『岩田食品株式会社』
7. 豊川市『アレルギーっ子の会』
8. イベント開催のお知らせ
 - 1) 「じしんってなあに？」 NPO 法人レスキューストックヤード主催
 - 2) 第 21 回「子どもの健康を考えるつどい」 愛知県保険医協会主催
9. 東海地域の連続ミニ講座の感想
10. メールマガジンについてのお問合せなど

=====

-
1. 新年のご挨拶 『理事長 須藤 千春』
-

明けまして、おめでとうございます。

昨秋以来の経済危機が我々の生活にどのように影響をするか、不安のうちに新年
を迎えましたが、
アレルギー支援ネットワークは本年もアレルギー大学、災害支援、事務所の開設
など多くの課題を抱えております。よろしくお願い致します。

《初夢》

私どもはアレルギー疾患の増加や悪化に住環境の影響も大きいと仮定して、住
宅の温熱環境とダニの生息状況やアトピー性皮膚炎との関連を検討してきました。
その中で住宅の温熱性能・環境をどのように評価・比較するかが最大の難問であ

りましたが、最近やっと熱容量、断熱性能、換気性能、湿気容量などの簡便な評価・比較法を確立することができました。今後は住宅の温熱環境の評価ソフトを開発し、これに医学気象予報を加えて、ユビキタス健康管理システムを樹立したいと考えております。言い換えれば、喘息やアトピー性皮膚炎の発症や悪化を抑えるような住宅の設計、建設を目指したいと考えております。これが私の初夢です。会員の皆様には、よろしくご協力をお願い致します。

アレルギー支援ネットワーク
理事長 須藤千春

2. 災害時の疑問 Q & A

災害時の素朴な疑問に 湖西市災害ボランティア 前田 展雄さん にお答えいただきました。いざというときに迅速な対応ができるようにしたいですね。

▼今の疑問

Q：自宅にいても配布される食事とか頂けるのか

→並びに行けばいいの？

→いつ配布されるのかは、自宅に居たら知らされない？

A：避難生活の基本は、助け合いと届出でしょう。質問者には失礼かも知れませんが、非常時には「・・・して貰う」という受身ではなく、「届ける」「助け合う」という積極的な姿勢が重要です。

まず、自分たちの家族はどこで避難生活をするのかを、自治会組織を通じて届け出て置かぬと、被災者としてのカウントから漏れますので、支援（救援物資の配布や補助・見舞金）の対象になり難くなります。自治会組織が不明瞭な地域は、お気の毒ですが大変苦勞をされるでしょう。自治会はそれをまとめて自治体に届けて、しかるべき支援を受け、自治会内に知らせ、配布することになります。

その場合でも「届けたから・・・して貰える」だけではなく、家族事情が許す範囲でお手伝いをすべきです。（役を引き受けても、当番制でも）普段からの近所付き合いや自治会活動の良し悪しが出るのは、この様な非常時の行動です。

湖西市災害ボランティア 前田 展雄

次回の疑問は

Q：水道が止まった場合、トイレは備蓄している水を流せば流れていくの？

です。お楽しみに☆

3. 最新！アレルギー関連情報『食物アレルギーの栄養指導の手引き 2008』

伊藤浩明（いとうこうめい）

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

「食物アレルギーの栄養指導の手引き 2008」

厚生労働科学研究の成果として、国立病院機構相模原病院の今井孝成先生が主任研究者となって、「食物アレルギーの栄養指導の手引き 2008」が完成しました。これは、「食物アレルギーの診療の手引き 2008」（主任研究者：海老澤元宏先生）の姉妹編で、医師からの指示に基づいて病院の管理栄養士さんが栄養指導を行うときのガイドラインを示したものです。

食物アレルギーに対する栄養指導は、2006年春から保険点数が認められています。しかし、栄養士さんたちがどのような内容で栄養指導をするべきか、という事が示されておらず、多くの方が苦勞して手探り状態で進めているのが現状です。この手引きは、相模原病院の栄養士さんたちが中心となりながら、全国の経験豊富な専門医と栄養士が議論を積み重ねて作り上げられました。

この手引きには、栄養指導の目的として「栄養士は、患者が健康的な、安心できる、楽しい食生活を営むための支援をする」と書かれています。食物アレルギーの栄養指導は、単に栄養不足を補うための知識を伝えるだけではありません。それぞれの患者さんの食生活の実態を把握し、保護者の不安感による過剰な除去が行われていないかどうかをチェックし、その状況に寄り添った指導を行うことが求められます。除去をするための指導ではなく、除去が必要なものを踏まえた上で、豊かな食生活を営むための支援です。

栄養指導は、あくまでも主治医の指示に基づいて行われます。栄養士の判断で除去食品を増やしたり、食べて良いものを決めることはできません。良い栄養指導ができるためには、主治医が適切で明確な診断を行っていることが、絶対に必要です。また、医師の指示を受けた場合に、どのような内容の栄養指導を行うのかを日頃からよく打ち合わせておくことが大切です。栄養指導で把握された患者の疑問や、不必要と思われる制限をしている食品などの情報を主治医にフィードバックすることも、栄養指導の大きな役割です。

この小冊子の中には、栄養指導を行うためのエッセンスが詰まっています。しかし、そのために必要な食物アレルギーや食品学の知識や情報が、全て書かれているわけではありません。現場の栄養士さんや、管理栄養士の養成校で教科書として利用できるような解説書を発行する動きも進んでいます。私たちアレルギー支援ネットワークが発行している「アレルギー対応給食」にも、たくさんの情報が書かれていますので、ご利用下さい。

この手引きは、下記の「食物アレルギー研究会」のHPからPDFファイルとしてダウンロードできます。

<http://www.foodallergy.jp/topics.html>

病院で栄養指導を行う管理栄養士さんだけでなく、給食の現場で仕事をされてい

る栄養士さんにも必ず参考になる内容が含まれています。是非一度手に取ってみて下さい。

4. 歯科材料アレルギー治療の健康保険講座(その8)

旧年中、これまでお読みいただきました皆様、有難うございました。
本年もよろしくお願い申し上げます。
また、皆様の益々のご健康を祈念致します。

歯科医師
藺田順

みんなで変えよう!歯科材料アレルギーの健康保険医療 ～国民病に処方箋を書くのは誰?～

～果たして歯科材料アレルギーは‘体質’か‘病気’か?～

なるほど、アレルギーは‘体質’であり、‘病気’でもある。
多くの方はその間をいつも行ったり来たりしていることでしょう。
…無症状で平穏でも‘体質’だけはその人についてまわり、アレルギー体質なので…、と言わなければならない場面が日常的にあります。

歯科治療の材料アレルギーについては、[歯科材料を使用した治療が先に行われた]という点では、確かに二次的に発生する治療(薬)の副作用のようなものとも考えられなくもありません。

しかし、皆さん、[副作用だから諦める]という事にしてしまっていて良いのでしょうか。

皆さんは果たして、よく知られた[抗ガン剤の副作用と同じ考え]で、歯科材料アレルギーにのぞむべきでしょうか?

～諦めるべきではない。諦めないで力を貸して!～

なぜなら、歯科治療では、癌治療と違って他の治療材料が選択出来るからです!
さらに、その治療が健康保険制度を利用して出来るのであれば、経済的にも良いではありませんか?

日本は世界にも稀な国民皆保険の国です。しかしながら、そこにも落とし穴があります。

医療施設を受診しても、診断によって、保険医療の規則が認める‘病気と材料の組合せ’にしか健康保険が適応されず、あれよあれよ、自動的に自費材料の治療へと進められてしまいます。

実は、以前にも述べました通り、ここで待ったをかけてじっくり検討すべきです。
しかし、残念ながら、殆どの場合には治療費請求を見て驚くことになるようです…。

もう、お分かりですね。歯科材料アレルギーの治療を「‘体質’による自己責任で仕方のないこと」にしてしまいたくないのです。更には、健康保険医療では出来ない、各自の自己責任による支払い方式(自費診療方式)に固定させたくないのです。

何のことはない、(アレルギー体質の方にできたというだけのことで、)ただの立派な「虫歯」という疾病なのです。

だから、是非、保険医療の充実を諦めないで要求して、みんなの力で実現しましょう！

～国民病の医療費処方箋～

最後に一緒に考えてみましょう。

仮に…

○歯科材料アレルギーは病気でなく‘体質’のせいとすると、メリットはどこにあるのでしょうか？

*お上において…

生活習慣病のように、各自の責任として扱い易い。
したがって、医療費を各自で負担させ易い。

*各自においては…

経済的負担が重い。
しかも、短絡的に諦めや敗北感、或いは、攻撃性にも及ぶこともある。

○歯科材料アレルギーを‘病気’として見ると…

*お上は…

社会的責任を問われる可能性がある。

*各自では…

治療の経済的負担を軽くするような働きかけや社会的活動に結び付け易い。
しかし、患者さんが持病として認識してしまうと、その諦めからか、精神的な自立を果しにくくなることも…。

さあ、あなたはどっち派だろう？

認識を変えるのはあなたです。

そんなあなたが明日の、否、今年のアレルギー治療を支える社会的基礎なのです。

今年は変革の年！

これまで動かさずに来た、眠れる医療がやっとのことで目を覚まします。

是非ともお力添えを！

藺田歯科医院 院長 そのだ順

5. 歯科治療材料アレルギーについてのアンケートご協力のお願い

歯科治療では古くから金属アレルギーなどでは保険がきかない治療が続いています。

保険適用の願いは強い希望ですが、実際には私たちアレルギーを持つ患者の声が国などに届いている例は少なく、今回の私たちの取り組みで、患者・家族などの声をアンケートによってまとめ、届けたいと思います。

是非、皆様の積極的なご協力をいただけますようお願いいたします。

下記アドレスより、アンケートにお答えください。

⇒

6. 賛助会員からのメッセージ 『岩田食品株式会社』

賛助会員の岩田食品株式会社です。当社は、愛知県一宮市の惣菜メーカーです。アレルギー支援ネットワークさんとの出会いは、今年の9月15日のアレルギー大学への参加からです。

当社も、「アレルギーに配慮したドレッシング」を発売し、何かのお役に立てたらという気持ちで参加させていただいたのですが、現実は厳しく、安全をより要求されることがわかりました。

講義に参加してみえる方の姿勢と真剣さからもそれは伝わってきました。

今後、食物アレルギーについて勉強させていただくため、NPO アレルギー支援ネットワークさんをはじめ、イベントに参加してお客様の生の声を聞く機会を積極的につくり、商品の開発や環境づくりに努めてまいりたいと考えています。

当社について少しだけ紹介させていただきたいと思います。

今から20年前。それまでの主力商品であったつくだ煮から惣菜へと全面的に路線を変換しました。そこには女性の社会進出などによる食生活の変化と21世紀への「夢」があったのです。食生活の変化にともない、惣菜のニーズはますます品質の高いものを要求されています。そうした状況の中で、全社スローガンを「フレッシュ&ヘルシー」と決めました。このスローガンには、バランスのとれた健康的な食生活のお手伝いをしていきたいという気持ちと同時に、会社全体を常に新鮮で健康的でありたいという願いが込められています。

当社のホームページはこちらからどうぞ

<http://www.iwatafoods.co.jp/>

7. 豊川市『アレルギーっ子の会』

はじめまして豊川市の『アレルギーっ子の会』です！

アレルギーっ子の会は、昨年2月にアレルギーも持つ子供の親が集まり、アレルギーの悩みなど一人で悩むことのない様、相談できる場所や友達を作ったりできる場所、そして正しい知識を学ぶ場所として会ができました。

まだ出来たばかりの新しい会で、月に1度、豊川市社会福祉会館「ウイズ豊川」で、アレルギー支援ネットワークの中西さんの支援のもと、定例会を行っています。

私の子供は1年生で食物アレルギーがあり、学校にお弁当を持って毎日通っています。学校の給食ってどんなだろう？このメニューはどんなものだろう？と不安だらけでしたが、学校給食課の栄養士さん、学校の養護の先生、クラスの先生、友達、みんなに協力してもらいトラブルもなく楽しい給食の時間を過ごすことができています。

アレルギーの不安でいっぱいのお母さん、ぜひ会に来て不安を話に来てください、助けてくれる人たちがいっぱいいますよ。

2月に、「岡崎アレルギーの会」のモリコロ基金助成金で豊川でも講演会を行います。皆さん是非来てください。

日時 2月8日（日）13:00～
場所 音羽文化ホール（ウィンディアホール）
豊川市赤坂町松本 250

「アレルギーってなんだろう？」

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 二村昌樹先生

「アレルギーっ子の防災シンポジウム」

報告者 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 理事 栗木成治さん

豊川市消防本部防災対策課 課長（予定）

豊川 アレルギーっ子の会 代表 福田三津子

コーディネーター 防災士 西川 賢次さん

アレルギー支援ネットワークの皆様、いつもありがとうございます。
アレルギーっ子の会も、皆様の役にたてる会にがんばっていきたいと思います。

アレルギーっ子の会 代表 福田三津子

8. イベント開催のお知らせ

1) 「じしんってなあに？」 NPO 法人レスキュースタッフ'主催

いざという時。お子さんが一人でも、勇気をもって災害に立ち向かえるような「ワザ」を、遊びながら楽しく学べるイベントです。ぜひご家族でご参加ください。(参加無料)

と き：1月11日(日) 10時～15時
ばしょ：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス1号館
3階13B・13C教室

⇒

2) 第21回「子どもの健康を考えるつどい」 愛知県保険医協会主催

食物アレルギーの治療の基本は原因食物の除去ですが、栄養学的な障害を伴わない配慮が必要です。今回のつどいでは、食物アレルギーに関する最新情報と園や学校における対応を考えます。ぜひご参加ください。(参加無料)

と き：1月18日(日) 13時30分～16時
ばしょ：豊橋商工会議所3階ホール
※保育が必要な場合は事前に申し出下さい。

⇒

9. 東海地域の連続ミニ講座の感想

☆☆未稿です。

10. メールマガジンについてのお問合せなど

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは、asn-mailmagazin@alle-net.com(担当：園木)までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.comまでお尋ねください。なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せ
ください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆